

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
家庭総合	2	3年・1類・A型 3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	家庭総合(実教出版)		私たちのエチケット

### 【科目の到達目標】

- ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解。
- ・生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

### 【評価の観点と方法について】

- 1 家族・家庭に対して、関連する制度や法律等に関心を持ち、さらに生きていくうえの知識・技術を習得して、自分の生活をデザインしようとする意欲がある。
- 2 学習した内容を理解したうえで、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるのかを思考し、判断した内容をレポート等でまとめることができる。
- 3 自立するために必要な調理技術、裁縫技術、基礎的技術などを身につけることができる。
- 4 人が生きていくうえで必要な「生活」「マナー」にかかわる基本的知識を身につけ、理解することができる。  
実習態度・作品の提出・ワークシート・定期考査等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	第2編「生活をつくる」 ◆食生活をつくる ・私たちの食生活	世界の食文化を知る。 各自の食生活の問題点を考える。 栄養素の働きやそれぞれが多く含まれる食品について学ぶ。	ビデオや資料で理解する。 食事の意義について考え、自分の食生活を見直し改善へとつなげることができる。 からだの中での働き、それらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活につなげることができる。	国際的視野で食生活について考えられている。 栄養素と食品の特徴について基礎的知識を身につけている。
	5	・栄養と食品のかかわり	食生活と健康との関わりを理解し、よりよい食生活の実践につなげる	自分の身体活動レベルにあわせた食事を考える。 献立カードを用いた献立を作成する。	食生活での課題を理解している。 一日の献立をたて、バランスのとれた家族の献立計画を作成できる。
	6	・食事の計画と調理 ・献立作成 ・調理実習	調理法を学び、調理技術を身につける。 バランスのとれた家族の食生活を考える。	調理法の基本を実習で学ぶ。 調理の後片付けなどの段取りや要領を実習から体得する。	調理技術を身につけている。 周囲と協力して実習に取り組める。
	7	◆社会に出てからのマナー① ・面接の受け方	食事のマナーをしり、楽しく食事ができる。 進路を見据えたマナーについて知る。	国によるマナーの違いを知り、状況に応じたマナーある態度を身につける。 入退室、挨拶や受け答えのマナーを学び、実践力を身につける。	

二 学 期	9	◆高齢者とかかわる ・高齢社会に生きる 私たちの暮らし  ・高齢者を知る	高齢社会の現状と課題 について学習する  高齢者の心身の特徴や 生活について理解する	現在の高齢社会、また将来に向けての高齢 化の進む社会について統計等より理解す る。また、高齢化社会における課題につい ても理解できる 高齢者の心身の特徴や生活について理解 し、積極的に高齢者との生活を知る	高齢化の現状を理解 し高齢化社会への関 心を高め基本的知識 を身につけている  ワークシートや疑似 体験実習記録等の提 出
	10	・豊かな高齢社会を 迎えるしくみ  ・高齢者の生活と その課題	介護保険制度のしくみ やサービスの内容、地域 住民間での助け合いの 活動などを理解する 高齢者の経済・社会活動 等の現状を理解する	高齢期に関する制度、特に介護保険につい て、なぜこのような制度が必要なのかを理 解する また、高齢社会を社会全体で支えるしくみ を理解することができる 高齢者がどのようなところで活躍してい るか、DVD等で理解する	高齢者の食生活実習 レポート
	11	・豊かな高齢期を迎 えるしくみ  ・ふれあい交流会	挨拶・名刺の受け渡しの 確認	天理市長寿会の皆様とのふれあい交流会 を通じて人生の先輩である高齢者から学 び、また生活を理解する 手紙の構成・頭語と結語・時候の挨拶・用 具のマナー等を理解する	インタビューレポー ト提出
	12	◆社会に出てからの マナー② ・情報伝達	御礼状・感謝の気持ちの 伝え方 手紙のマナー		手紙のマナー、書き 方を理解し御礼状を 提出
三 学 期	1	第3編「消費者とし て自立する」 ◆消費行動を考える ・社会の変化と消費 生活 ・経済的に自立する  ◆社会に出てからの マナー③ ・将来の生活	消費行動において、意志 決定のプロセスを理解 する 契約、多様な販売方法・ 問題商法について理解 せる  自立・自立することを理 解する。	日々行っている消費者であることを理解 し消費行動においては都度意思決定が行 われていることを理解する 消費者トラブルの解決法・ネットでの取 引・トラブルその種類・消費者契約法な どの法律・信用販売（クレジット）のしくみ 等について理解する  衣・食・住生活のまとめ	経済設計 プリント提出  自立度チェック

#### 【その他】

- ・家庭総合は2・3年次の2年間（各2単位）で履修します。
- ・実習や演習をできる限り多く取り入れながら体験を通して学習していきます。
- ・さまざまな生活活動を想定しながら学んでいくことから、生きていくための総合力が身に付きます。
- ・連続して課題に取り組むことも多く、休むことなく実習・演習に臨んでください。